



宮園だより

編集・発行

宮園地区自治会連合会

宮園地区コミュニティ協議会

次世代への 「まちづくり」

宮園地区自治会連合会・コミュニティ協議会
会長 高橋 正



新型ウィルス肺炎が世界各地に感染拡大、日本列島では記録的暖冬。地球規模の未経験の事柄に遭遇。不安と迷い。如何に応ずればいいのか。僅かでも教訓を学び、残したいものです。

さて、私たち自治会・コミュニティ活動は、皆さまのご支援、ご協力のおかげで間もなく令和元年度を終え、新年度へ引き継ぐはこびになります。

この紙面は、スナップ撮りの写真を編集して、私たちのコミュニティの姿としてまとめました（広報担当：佐々木、河本）。「人」と「行事」を視覚的に見ていただけたと思います。

少しく紙面を読む——「人」と「行事」が地域社会の活力を示すものであるとするならば、その強さは「人」と「行事」の和ではなく積として示し、「量」と「質」の両面を見る心構えが「まちづくり」では大切であるとの考えにいたり、何かに目覚めた気持ちになりました。

「行事」には宮園の自治会・コミュニティ活動の歴史が刻まれ、宮園市民の“伝統的行事”として皆に認められているところです。また、参加している1人ひとりの表情には活気と笑いがあり、誇りみなぎっているようにさえ感じられます。そして、子どもたちの脳裏には鮮やかに記憶され、この楽しい思い出が次世代の「まちづくり」の牽引力や礎になるものと信じています。

少子高齢化問題は「まちづくり」の根幹にかかわる問題です。人口減少と高齢化が進むにつれて「まち」には「コミュニティ」の重要性が高まってきます。そして「コミュニティ」を進化させるのが「行事」であるという関連性が強まり次世代の「まちづくり」へとスパイラル状に発展していくのです。

ある方のことば——「人が集まる場と機会を作ること」「つなぐこと」——コミュニティ活動の至言として反芻しつつ新年度の発展を祈念いたします。

宮園地区運動会

令和元年5月26日

抜けるような青空のもと、たくさんの方々にご参加いただき運動会が開催されました。子供から大人まで真剣な表情に浮かぶ汗はとてもキラキラしてまぶしかったです。



宮園地区夏祭り

令和元年8月3日

今年も華々しく盛大に宮園野球場で夏祭りが開催されました。盆踊り、演奏やダンスのステージ発表、焼き鳥にビール、焼きそばにジュース等々大盛況で時が流れました。





敬老会

令和元年10月6日



とんど祭

令和2年1月12日

無病息災を祈願するとんど祭が開催されました。年男の小学生による点火式が行われました。自主防災会から豚汁、宮園小PTAからはぜんざいが提供され、長蛇の列が出来ていました。



2年ぶりの開催となりましたが多くの敬老対象者の方に集まっていただき楽しい時間を過ごして頂けたかと思えます。
演奏、演舞、歌唱を楽しみ、昼食の時は話に花が咲いて楽しめる光景が印象的でした。



宮園フェスティバル

宮園

令和2年1月26日

大寒を迎えたばかりとは思えないほどの暖かさとなり、多くの方々にご来場いただきました。

豆まき、長巻寿司、お餅、焼き鳥、焼きそば、うどん、牡蠣雑煮、飲み物等々たくさんのイベント、出店があり大盛況のうちに幕を閉じることができました。

